

国家基幹研究開発事業「再生医療の実現化ハイウェイ」に採択

再生医療の実現化ハイウェイ プロジェクトマネージャー
視覚機能再生外科学（眼科） 木下 茂

この度、京都府立医科大学と同志社大学・滋賀医科大学が共同で申請いたしました研究課題「培養ヒト角膜内皮細胞移植による角膜内皮再生医療の実現化」が国家基幹研究開発事業「再生医療の実現化ハイウェイ」の短期で臨床研究への到達を目指す再生医療研究（課題A）に採択されました。

本プロジェクトは、これまでの医療を根本的に変革する可能性のある細胞移植・細胞治療等による再生医療について、その実現化を加速するため文部科学省と厚生労働省との協働により、前臨床・臨床研究までの一貫した研究開発を実施するものです。採択された研究課題においては、角膜内皮障害による視覚障害を、生体外で培養したヒト角膜内皮細胞の細胞移植によって治療する再生医学的治療法の研究を行い、3年以内の実現化を目指します。

【課題名】

培養ヒト角膜内皮細胞移植による角膜内皮再生医療の実現化

【研究代表者】

京都府立医科大学視覚機能再生外科学（眼科）
教授 木下 茂

【研究分担者】

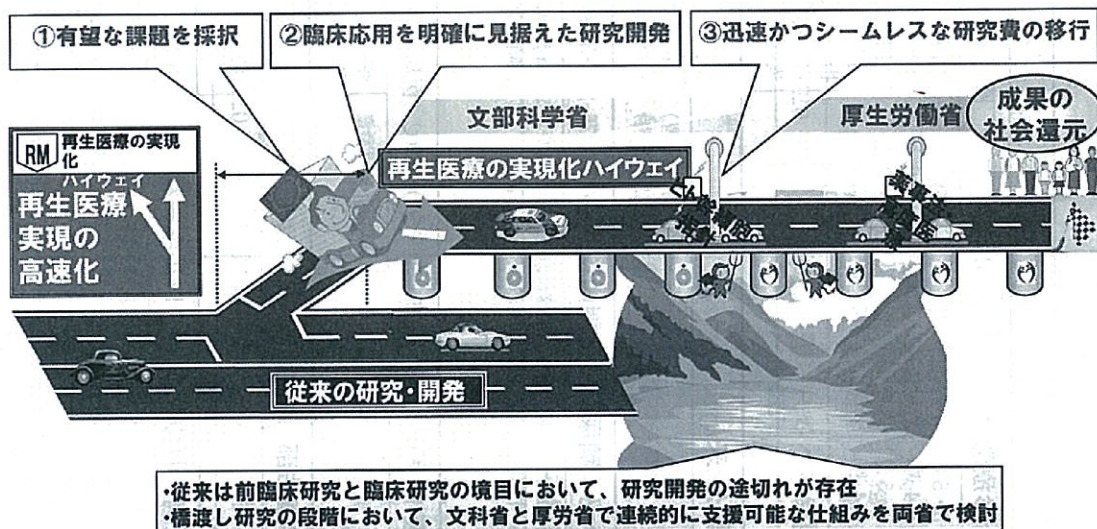
同志社大学生命医科学部医工学科
助教 奥村直毅
滋賀医科大学動物生命科学研究センター
教授 鳥居隆三

【研究経費】

4億9907万円（3年間の総額／申請時）

【参 考】

文部科学省 HP
(http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1311540.htm)



再生医療の実現化ハイウェイ概念図